

[098] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10168>

出版情報：語文研究. 98, 2004-12-28. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会集報

蜻蛉巻二題

- ・ 芹川の大将のとほきみの女一官
- ・ ねたましがほにかきならし給ふ

目加田 さくを

平成十六年度 九州大学国語国文学総会並びに研究発表会
於 九州大学留学生センター国際ホール

二〇〇四年六月六日(日)

「涙」の色

——『古今和歌集』恋歌表現考——

日高 愛子

『ささやき竹』考

——西光坊とその周辺——

安川 多映

象徴詞を動詞化する接尾辞について

——「めく」「つく」を中心に—— 川 瀬 卓

外来語の複合語について

お伽草子『祇王』の諸本と成立 森 誠 子

刊本『ささぐり』の成立

——長崎樫園社中の台頭—— 吉 良 史 明

海外説話の時代

——西川如見著述考—— 若 木 太 一

散逸物語『露の宿り』小考 辛 島 正 雄

第五十四回西日本国語国文学会

於 熊本学園大学

二〇〇四年九月二十五日(土)・二十六日(日)

「研究発表」

副詞の呼応関係をめぐる一考察

(九州大学関係者のみ)

席 衛 国

平成十七年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

平成十七年度九州大学国語国文学会を、平成十七(二〇〇五)年六月五日(日)、九州大学留学生センター国際ホールにて開催いたします。多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

なお、研究発表をご希望の方は、発表題目を平成十七年四月末日までに九州大学国語国文学会までお申し出ください。

研究発表題目等の詳細につきましては、平成十七年五月中旬にあらためてお知らせいたします。

千八二二 八五八一

福岡市東区箱崎六 一九一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax) 〇九二 六四二一 二三九五

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千元（各号一部配布）、通常会員二千元（各号一部配布）とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。